

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名【新】消防分野における女性の参画拡大推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課企画係 電話番号：058-272-1111(内2882)

E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,623 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,623	0	0	0	0	0	0	0	1,623
決定額	1,623	0	0	0	0	0	0	0	1,623

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

これまで、「消防は男性の仕事」とする状況も多く見受けられてきたが、人口減少社会において防災力の低下が懸念される現在、多様化・大規模化する災害に的確に対応するため、自助・共助・公助が一体となって地域防災力を発揮することが、更に必要となる。

消防吏員については、多様な視点でものごとを捉える組織風土、育児・介護などそれぞれ異なる事情を組織や同僚が理解し支援する組織風土が醸成されることにより、組織の活性化、組織力の強化、士気の向上を図る等の観点から、女性吏員の活躍が求められている。当県の女性消防吏員の割合は2.15%で、全国平均(3.4%)より低いことから、将来的な消防力確保のため、女性参画の拡大に取り組む必要がある。

団員についても、災害に際して地域に応じた適切な対応をするため、女性や学生など幅広い住民の入団促進が必要となっており、住民の支援にあたって女性の視点が必要とされているなど、積極的な観点から加入が求められている。一方で、当県における女性消防団員の割合(3.0%)は、全国平均(3.7%)と比較して低くなっており、団ごとに異なる活動内容について、拡大や見直しも含めた活性化の取組みが必要となっている。

(2) 事業内容

- 女性消防吏員を対象としたキャリア支援研修
 - ・講義（女性消防吏員の活躍推進、日常業務における困難事例への対処のヒント等）
 - ・演習（キャリアプラン、キャリアパスを描く）
 - ・情報交換（受講者間で業務内容や環境に関する情報交換を行う）
- 女性消防団員向け研修・交流会
 - ・先進的な取組事例の紹介
 - ・受講者同士の情報交換（活動内容や活動環境に関する現状と課題について）
 - ・座談会（新たな提案を探る）

(3) 県負担・補助率の考え方

県内各地から女性消防吏員、団員が集合する形式で研修を実施。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	234	講師、職員
需用費	330	消耗品費、会議費
役務費	55	通信費、郵送料
使用料及び賃借料	184	会場借上料
報償費	820	講師謝金
合計	1,623	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 KPI：女性消防団員数 850人（R9年度）
- ・岐阜県男女共同参画計画 参考項目 女性消防吏員、女性消防団員の割合

(2) 国・他県の状況

- ・内閣府「男女共同参画計画基本計画」 女性消防団員の割合 5%（令和8年度）
- ・消防庁において、女性消防吏員活躍推進アドバイザー派遣制度を設置

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

女性吏員は少数であるため、所属する消防本部にロールモデルがないなど、各消防本部での教育には限界があるため、県が主体となって集合形式で実施することが妥当。

女性消防団員についても、女性の割合は少なく、活動内容や活動環境も所属団によって多様であるため、互いを手本に活動を広げていく必要がある。県内の各消防団における女性団員の役割について情報共有し、県内女性団員の活動を活性化することを目指すため、県が主体となって実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 女性の入団により減少傾向にある県内消防団員数を増加させるとともに、女性ならではの視点を取り入れることで、減災に最も必要な自助・共助の両側面を有する消防団の機能を充実強化し、地域防災力の維持・向上を図り、発生が懸念される南海トラフ巨大地震等大規模災害時における安全・安心な地域づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	終期目標	達成率
	(R5)	実績	目標	目標	(R11.4.1)	
女性消防団員数	606	606	656	706	850	71.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特に女性職団員が増加していく場面では、女性職団員の役割や置かれる状況が変化していくことから、定期的に現状を把握していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 女性職員については継続的なフォローアップを行うため、女性団員についてはより多くの団員に受講いただくため、次年度以降も引き続き事業を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】